

1周年記念シンポジウム

子どもセンターぬっくは、2016年4月より子どもシェルター「ぬっくハウス」の運営を開始し、1年が過ぎました。2017年6月末までの入居は、のべ27名で、うち22名が退去しました。

この間、シェルターとしての安心・安全の確保とともに、一人ひとりの通学保障や、荒々しい感情の表出による他の子らへの不安の増大の対応など、悩ましい課題の一つひとつ向き合う一年となりました。また、退去後の居場所探しに難航し、2ヵ月程度をめぐとするシェルターの入居期間が長期化することもありました。

本シンポジウムでは、第1部で、子ども担当弁護士からの1年間の活動報告とともに、「ぬっくメイト活動」（子どもたちが退去していく際、入居中にボランティアとして関わってくださった方の中から「ぬっくメイト」を1名から数名を選び、退去後にも電話・メールや面会をしていただく活動）についてご報告をします。第2部では、シェルターを退去した子どもの声をお届けします。第3部では、ぬっくよりも前から、主に10代、20代の女子に寄り添う活動を続けてこられたBONDプロジェクトの橋さんを中心に対談形式で、実践からの熱いメッセージをみなさまと共有できたらと思います。

ぜひお誘い合わせの上、お越しください。

日時 2017年9月10日(日)
午後1時30分(午後1時受付開始)～午後4時50分
場所 大阪YMCA会館 903号室

開会の挨拶 13:30～13:40 森本志磨子さん(ぬっく理事長・弁護士)

第1部 13:40～14:25
“ぬっくの活動報告” 入江祥大さん(ぬっく運営委員・弁護士)
藤村孝介さん(ぬっくメイト)

第2部 14:30～15:00
“子どもシェルターを退去した子どものインタビュー”
Interviewer 相間佐基子さん(ぬっく理事・弁護士)

第3部 15:15～16:45
“対談” 橋ジュンさん(NPO法人BONDプロジェクト代表・ルポライター)
森本志磨子さん(ぬっく理事長・弁護士)

大森順子さん(シングルマザーのつながるネット まえむきIPPPO代表、ぬっく理事ほか)

閉会の挨拶 16:45～16:50 吉田優子さん(ぬっく運営委員・弁護士)

参加無料

会場アクセス

大阪YMCA会館(大阪YMCA国際文化センター)
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目5-6
TEL: 06-6441-0893

- *地下鉄「肥後橋駅」下車 出口③から徒歩約5分
- *京阪中之島線「中之島駅」下車 出口⑥から徒歩約9分
- *地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 出口④から徒歩約12分
- *京阪中之島線「渡辺橋駅」下車 出口⑦から徒歩約11分
- *JR・阪神線「福島駅」下車 徒歩約15分





子どもシェルターとは？

貧困・虐待・非行などにより、家庭に居場所がなく今日眠るところがないなど居場所のない10代後半の子どものための緊急避難の場です。

子どもセンターぬっくでは、スタッフ・子ども担当弁護士(コタン)に加え、「ぬっくメイト」が寄り添い、今後の生活や将来について子どもと一緒に考えていきます(詳しくはシンポジウムにて)。

✿ NPO法人子どもセンターぬっく

2014年5月居場所のない子どもたちに関心のある弁護士・NPO職員・児童福祉施設関係者らが集まり、子どもシェルター設立準備会・勉強会を開始。2015年9月NPO法人として設立、2016年4月子どもシェルター「ぬっくハウス」開設。名称の由来は、「子どもたちにぬくもりのある生活を」との思いから、大阪弁で、あたたかい状況を表す「ぬくい」から名づけました。“まなざし”“雰囲気”“人の情”など、ほっこりするあたたかさの意味が込められています。

✿ ぬっくの歩み

- 2014.5.16 居場所のない子どもたちに関心のある弁護士・NPO職員・児童福祉施設関係者らが集まり、子どもシェルター設立準備会・勉強会を開始
- 2015.5.30 NPO法人子どもセンターぬっく設立総会を開催
- 2015.9.1 NPO法人として設立
- 2016.4.1 子どもシェルター「ぬっくハウス」開設

✿ 橋ジュンさん

NPO法人BONDプロジェクト代表、ルポライター。2006年、パートナーのカメラマンKENさんと共に、街頭の女の子の声を伝えるフリーマガジンVOICESを創刊。2009年、10代20代の生きづらさを抱える女の子を支えるNPO法人BONDプロジェクトを設立。虐待、家出、貧困など様々な困難を一人で抱えてしまう女の子に寄りそう「聴く、伝える、繋ぐ」を活動しつつ、TV・新聞などの多数のメディアに出て紹介されている。

✿ NPO法人BONDプロジェクト

2006年10月よりフリーライターである代表の橋ジュンさんは、繁華街に出向き青少年の声を聞き、フリーペーパー「VOICES MAGAZINE」で伝える活動を開始。生きづらさを抱えた青少年のありのままの声を伝えることで、共感しながら自尊心向上を図り、社会との繋がりや自立を目指し活動を続けていた。しかし、望まない妊娠や駆け込み出産など聞いて伝えるだけではどうにもならない状況や、彼女たちだけでは相談窓口まで辿り着く事が出来ない状況を知る。若年女性の複雑な状況を目の当たりにし、一緒に考え必要な機関や大人に繋ぐ役割が必要だと感じ、また困窮し行き場を失った彼女たちの「居場所」づくりを実施するため、2009年12月「特定非営利活動法人BONDプロジェクト」を設立。10代20代の生きづらさを抱える女の子のための女性による支援を行っている。さまざまな形で、居場所を失った若年女性たちの自己肯定観の向上や、自立に向けての支援をおこなっている。

●お問合せ● NPO法人子どもセンターぬっく 事務局 長田
〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目1番4号第三大阪弁護士ビル503号
(葛城・森本法律事務所内) TEL:06-6355-4648 FAX:06-6365-1213

ぬっくHP



***** NPO法人子どもセンターぬっく事務局宛 FAX:06-6365-1213 *****

事前申込は不要ですが、資料の関係上、参加予定の方は、下の欄にご記入の上、FAX・郵送・メール(件名を「9/10シンポジウム参加の件」としてください。)して頂きますと大変助かります！

9月10日(日)のシンポジウムに参加します。

氏名		所属	
電話		Email	



*本年度のぬっくメイト活動及び本シンポジウムは、子供の未来応援基金の支援を受け実施しています。